

# 古代蓮の里官民連携事業方針及び施設に関する各種資料

行田市都市計画課

## ■古代蓮の里の基本情報

施設概要

ふるさと創生事業の一環として、行田市の天然記念物に指定されている『行田蓮（古代蓮）』をシンボルとする公園を古代蓮の自生する付近に「古代蓮の里」として、子どもからお年寄りまで楽しめるよう整備された。

各種利用料金			
古代蓮の里（公園）		通年無料	
駐車場	花蓮開花時期 （6月中旬～8月中旬）	普通自動車（10人乗り以下）：1台あたり1日 500円	
	上記時期以外	中型自動車・大型自動車：1台あたり1日 1500円	
行田タワー・古代蓮会館		大人（高校生以上）	・個人：400円 ・団体：320円/人
		小人（小・中学生）	・個人：200円 ・団体：160円/人



○公園面積：14ha（東京ドーム約3個分）

- 主な施設
- ・ 古代蓮池
  - ・ 水生植物園
  - ・ 古代蓮会館・行田タワー
  - ・ 古代蓮の里売店
  - ・ 古代蓮うどん店
  - ・ 釣り堀
  - ・ 冒険遊び場
  - ・ BBQ広場
  - ・ RVパーク

- 主なイベントスケジュール（R6年度）
- 【古代蓮開花】  
6月中旬～8月上旬
  - 【田んぼアート】  
7月下旬～10月中旬
  - 【冬季イルミネーション】  
11月下旬～2月中旬



古代蓮



行田タワー



行田タワーから眺める田んぼアート2025



古代蓮うどん店

## ■指定管理に関する情報（令和4年指定管理者募集要項等より）

- |         |                           |
|---------|---------------------------|
| ○指定管理期間 | 令和5年4月1日から令和10年3月31日（5年間） |
| ○事業者    | 公益財団法人行田市産業・文化・スポーツいきいき財団 |

- 主な業務内容
- ・ 古代蓮の里の利用を通じた観光の振興に関する業務
  - ・ 古代蓮の里の利用の許可に関する業務
  - ・ 利用に係る料金の収受に関する業務
  - ・ 施設（植物、設備及び物品を含む）の維持管理に関する業務
  - ・ 管理にあたっての準備行為や、清算等の引継ぎ業務
  - ・ 災害時の協力業務
  - ・ 感染症対策業務

- 蓮の維持管理業務
- 【仕様書記載】
- 園内は、42種類12万株の花蓮をはじめ、季節ごとに咲く牡丹、ロウバイ、梅、桜などを鑑賞できる公園として、花蓮の生育や維持管理に精通している者を置くこと。また、蓮の育成や樹木管理については、栽培管理作業計画等を作成し、年間を通して園内の適切な維持管理をすること。



# 古代蓮の里官民連携事業方針及び施設に関する各種資料

行田市都市計画課

## ■対象公園の現状と課題

季節的な集客要素（古代蓮、田んぼアート等）を施設収益（飲食物販）の拡大及び運営管理への還元を活かしきれていない

### 現状と課題

- ・ **飲食・物販施設の収益力を拡大したい**  
→キッチンカー等対応は進めているものの、繁閑期の利用差が大きく繁忙期の集客を収益に活かしきれていない。  
→商品開発の新陳代謝を高めたい
- ・ **繁閑期の差が大きく年度によっても差がある**  
→古代蓮の開花期、田んぼアートの見頃時期は利用数・満足度ともに大きいが秋～春の利用が小さく集客コンテンツも乏しい。  
→蓮の開花時期は比較的安定している一方、田んぼアート時の集客は年度によっても差がある（メディアミックスの場合は非常に集客が大きくなる）。
- ・ **施設内の利用に差があり未活用となっているスペースがある。**  
→古代蓮会館、公園内ともに利用が集中するスペースとそうでないスペースの差があり有効活用の余地が大きい。

## ■官民連携事業（リニューアル事業）の実施方針

民間事業者の裁量要素やインセンティブの拡大によるよりよいサービス・運営維持への還元が可能な施設とする

- ・ **次期指定管理事業者公募を契機としてより裁量性の高い官民連携を推進**  
→次期指定管理期間前～期間中の整備を前提として **事業者意見を取り入れた施設リニューアル**を実施（DB方式を視野に検討）  
→施設収益（飲食物販及び駐車場管理）の拡大を目指し事業者インセンティブを導入  
→より **自由な提案を可能とする指定管理公募仕様への刷新**（指定管理期間の柔軟化、民間裁量の拡大等）


- ・ **飲食・物販施設の魅力向上**  
→事業者提案による **収益力の高い施設への転換**

- ・ **施設リニューアルに関する民間意見の導入**  
→現状の **未活用スペースの利活用**に関する事業者意見の導入  
→ **閑散期に集客（閑散期の魅力向上）**を目指す **コンテンツ**に関する民間意見の導入

## ■リニューアル事業の導入エリア（案）

園内の水生植物園及び池（釣り堀を除く）は原則現状維持としそれ以外の施設全域（古代蓮会館含む）をリニューアル対象とする

- ・ 古代蓮を中心としたハス・水生植物の水景は本園の設立の契機となった重要な要素であり、かつ利用者ニーズ・集客要素としての重要性を鑑み、古代蓮を中心とした水生植物の生育環境は基本的に現状を維持する。
- ・ 一方、水辺の景観が本園の魅力要素であることから、水生植物（ハス）の鑑賞や生育に支障のない範囲で水景を活用したリニューアル提案（魅力向上）については積極的に受け入れる。

：原則現状維持とする範囲



## ■事業スケジュール（案）※事業者との調整による

令和7-8年度	令和9年度	令和10年度～
サウンディング型市場調査 基礎調査・整備方針検討 公募仕様検討	公募・事業者選定	次期指定管理運営期間※

※現状の指定管理期間は5年となっているが事業者意見に応じ拡大・柔軟化を検討



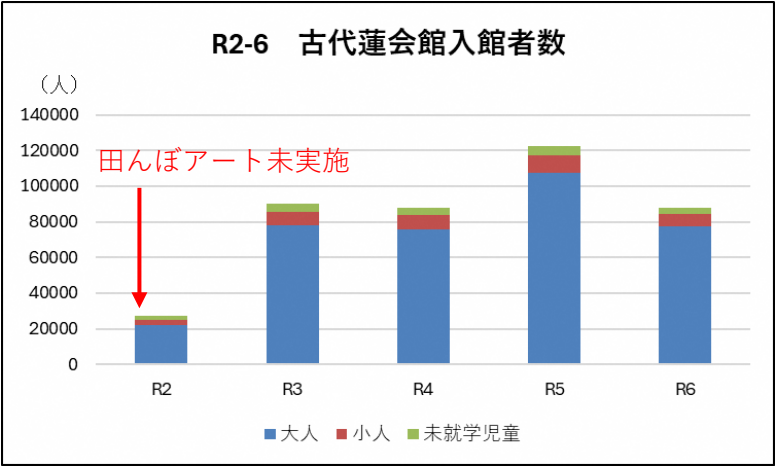
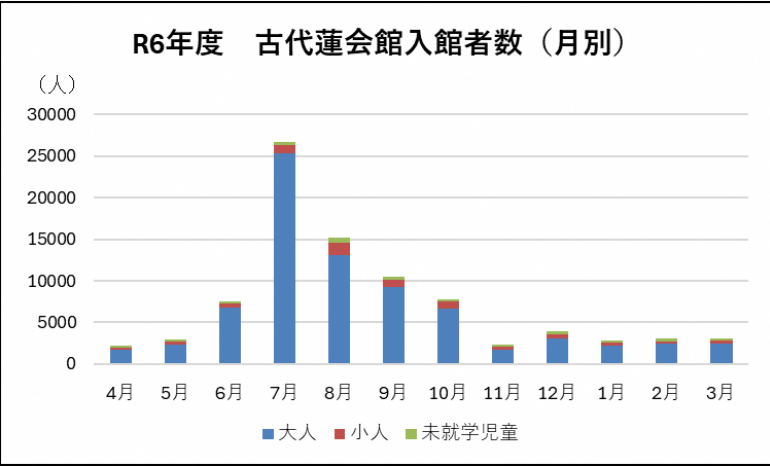
# 古代蓮の里官民連携事業方針及び施設に関する各種資料

行田市都市計画課

## ■施設利用者数・事業の現状

### 施設利用者数

- 全体的にハスの開花時期および田んぼアートの見頃である7-9月の入館者数が多い傾向。
- 7月はハス、8－9月は田んぼアートによる集客が多く、特にアニメ・映画等のコンテンツの年度は影響が大きい。
- 来園者数の伸びに比して事業収益部分の動きが鈍く、田んぼアートコンテンツによる利用の伸びを飲食・物販等の収益に活かしてきていない部分があると考えられる。



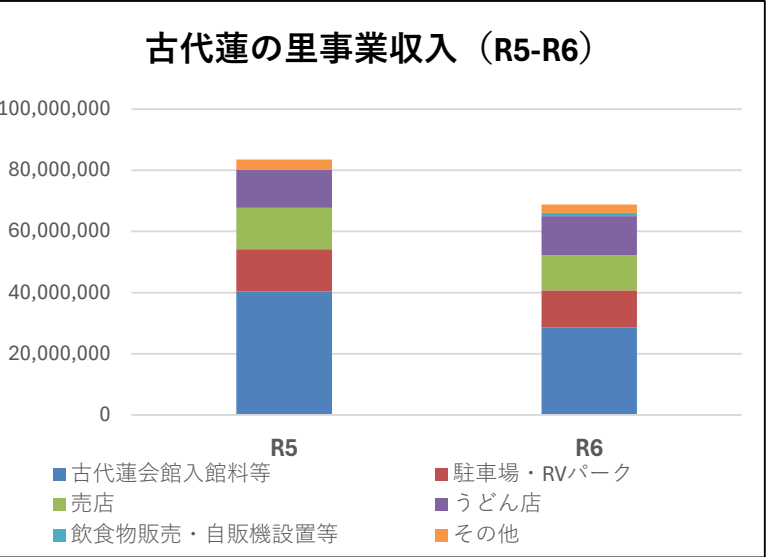
### 田んぼアートデザイン

R3：「田んぼに甦るジャポニズム～浮世絵と歌舞伎～」  
R5：「翔んで埼玉～琵琶湖より愛をこめて～」

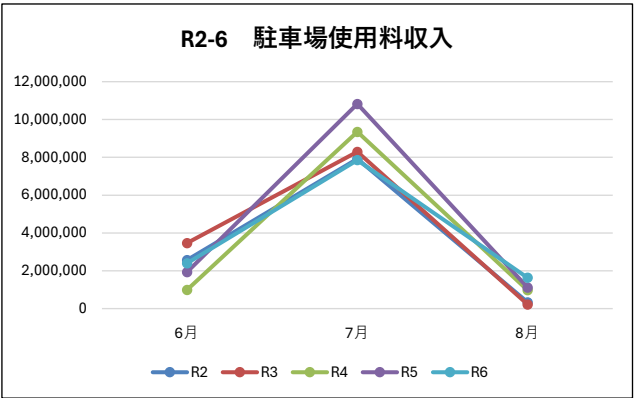
R4：「アオアシ」  
R6：能登復興祈願

※田んぼアートは市の農政課の事業である  
※R2は新型コロナウイルス感染拡大により田んぼアート未実施

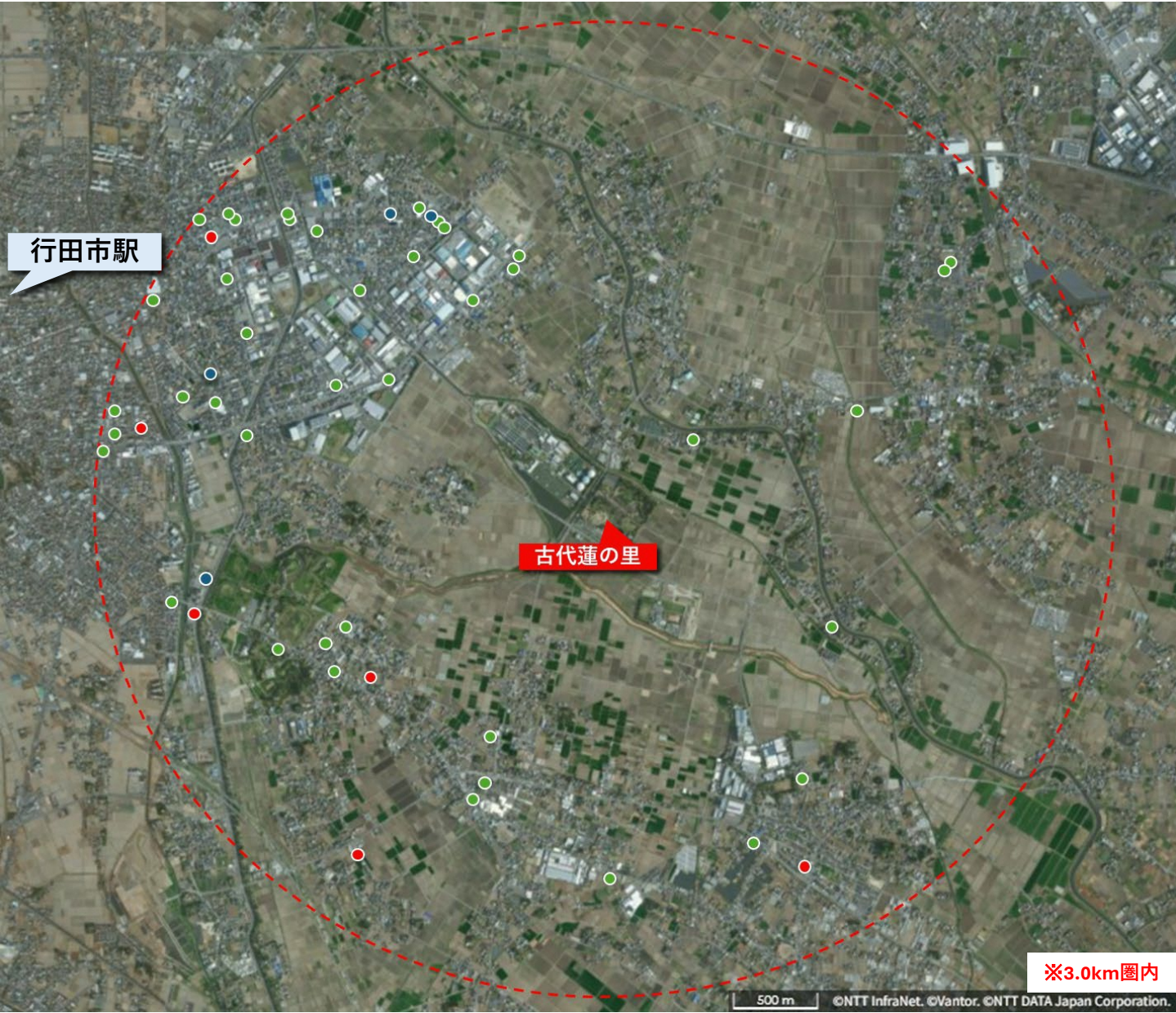
### 事業収入



- 入館料等が古代蓮の里入館料、備品レンタル料、施設使用料等含む
- 駐車場が有料となるのは現在、6月中旬～8月中旬の蓮開花時期（約3か月間）に限定され期間は不定期、例年7月が利用のピークになる。



## ■古代蓮の里周辺のレストラン・カフェ・コンビニエンスストアの分布状況



- ：レストラン ●：カフェ ●：コンビニエンスストア ※Google mapで各キーワードを検索して作成
- 古代蓮の里の西側（住宅地）にレストラン、カフェ、コンビニエンスストアが分布しており、東側3.0kmにはほぼ分布が少なく、大半を田畑が占めている。
  - 比較的レストラン（居酒屋等も含む）が多く、カフェは4件程度とやや少ない傾向がある。

## ■古代蓮の里周辺の主要な公園

公園名	面積（㎡）	特徴的な施設等
行田市総合公園	164,000	野球場、プール、テニスコート、売店
水城公園	103,000	忍城址、市民広場
富士見公園	20,500	野球場、テニスコート
見沼元圀公園	17,003	風車、ゲートボールコート、展望台



# 古代蓮の里官民連携事業方針及び施設に関する各種資料

行田市都市計画課

## ■古代蓮の里周辺の商業施設及び観光施設



- レストラン・カフェ等の飲食施設と同様に、観光施設及び商業施設も古代蓮の里の西側（行田市街地）に集中して分布している。
- 集客施設としては忍城址とぶらっと♪ぎょうだ、埼玉古墳群とさきたまテラスがそれぞれ近隣に設置されている。

## ■古代蓮の里への交通アクセス



- JR高崎線 行田駅東口から行田市市内循環バス（約8km）  
秩父鉄道 行田市駅南口からタクシー（約5km）  
吹上駅北口からタクシー（約8km）  
東行田駅（約4km）

## ■各施設の概要

### 観光物産館さきたまテラス

所在地	行田市佐間1503-1
営業時間	9:30~17:00
定休日	月曜日（祝日は営業）
駐車場	有（51台）※無料

### 観光物産ぶらっと♪ぎょうだ

所在地	行田市忍2丁目1-8
営業時間	9:30~17:00
定休日	年末年始
駐車場	有（50台）※無料

### 忍城址

所在地	行田市本丸17-23
入館料	敷地内：無料 ※行田市郷土博物館は有料
駐車場	有（56台）※無料

### 埼玉古墳群(さきたま古墳公園)

所在地	行田市埼玉4834
入館料	敷地内：無料 ※さきたま史跡の博物館は有料
駐車場	有（295台）※無料

### 水城公園

所在地	行田市水城公園1249
入館料	敷地内：無料
駐車場	有（258台）※無料



- 土偶やはにわなど、古墳グッズが揃うお土産ショップ
- 御朱印の古墳版「御墳印」も行田市内14箇所のもを購入することが可能
- フードエリアも充実



- 足袋や南河原スリッパといった地場産品をはじめ、「行田の餃子」「十万石まんじゅう」「わたぶく牛乳」など、行田ならではの名産品・お土産が並ぶ
- レンタサイクルの貸出しも行っている



- 室町時代の文明年間（1469年～1486年）の初め頃に築城
- 忍城御三階櫓の最上階からは市内の景色が一望できる



- 5世紀後半から7世紀はじめごろまでに作られた9基の大型古墳が群集している公園
- 約30haの古墳公園内には、「県立さきたま史跡の博物館」や、はにわ作り体験ができる「はにわの館」などがある



- 忍城の外堀を埋めて整備した行田市を代表する公園で、園内には池や四季の花、遊具エリアがあり市民の憩いの場として、家族連れなどで賑わう
- 忍城址や旧忍町信用組合店舗をはじめ、園内全体に歴史的風景が広がり、観光地として散策を楽しむこともできる。



# 古代蓮の里官民連携事業方針及び施設に関する各種資料

行田市都市計画課

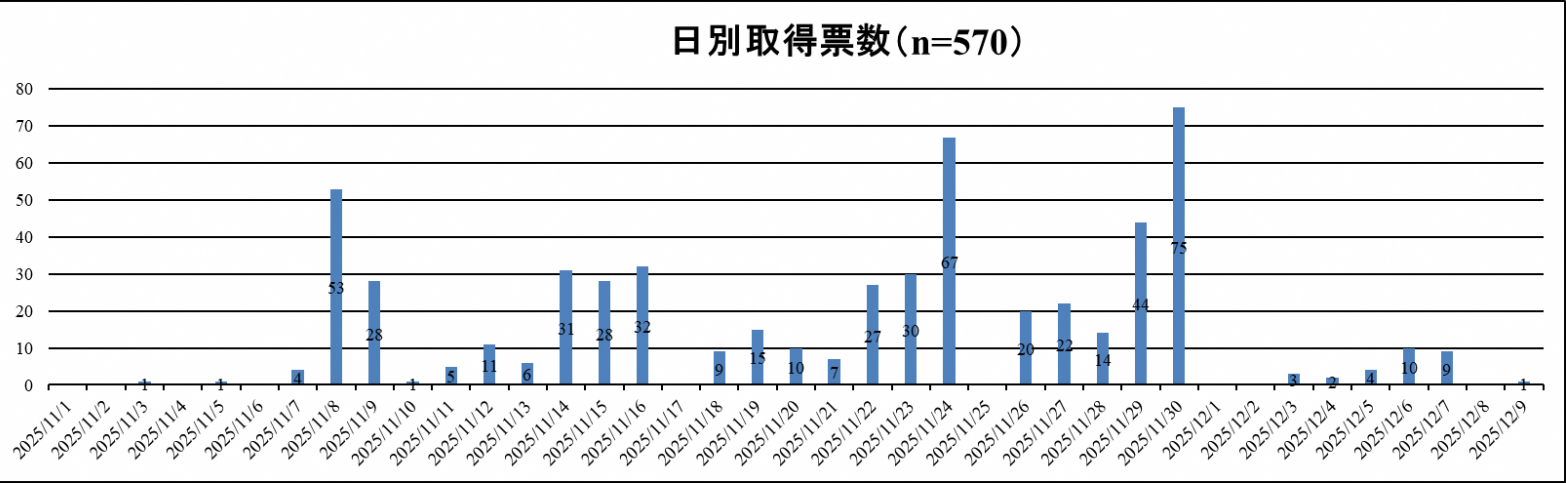
## ■市民アンケート調査の実施概要

### ○調査結果概要

調査方法	調査期間	対象
QRコード・紙アンケート	2025/11/1～12/9	古代蓮会館内でのポスター提示によるQRコード設置

### ○日別取得票数

11/30の75票/日が最大となり、主に週末に取得票数は多くなる傾向だった。



## ■調査結果

### 1.基本属性

#### ○性別

- 女性が61.4%、男性が36.7%と、他のアンケート調査の傾向と同様に女性の方が回答割合が高い結果となった。

#### ○年齢

- 中年者層（40歳以上）の割合が過半数を占める結果となった。

#### ○居住地

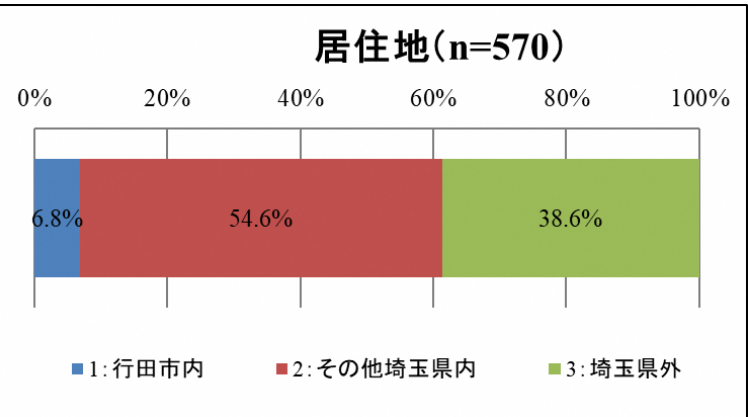
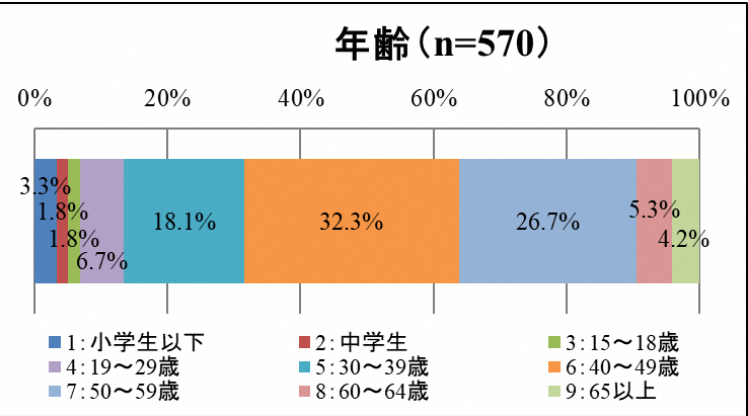
- 行田市内の居住者による回答は全体の6.8%と低い結果だった。
- 埼玉県内の内訳ではさいたま市の割合が最も高く16.4%、次いで鴻巣市、熊谷市となった。
- 埼玉県外では、比較的近郊の東京都、群馬県、千葉県が半数以上を占めた。

#### ○来園頻度

- 初来園者は全体の39.6%で、最も高い割合だった。
- 月に数回程度～毎日の高来園頻度層は合計で5.0%と少数だった。

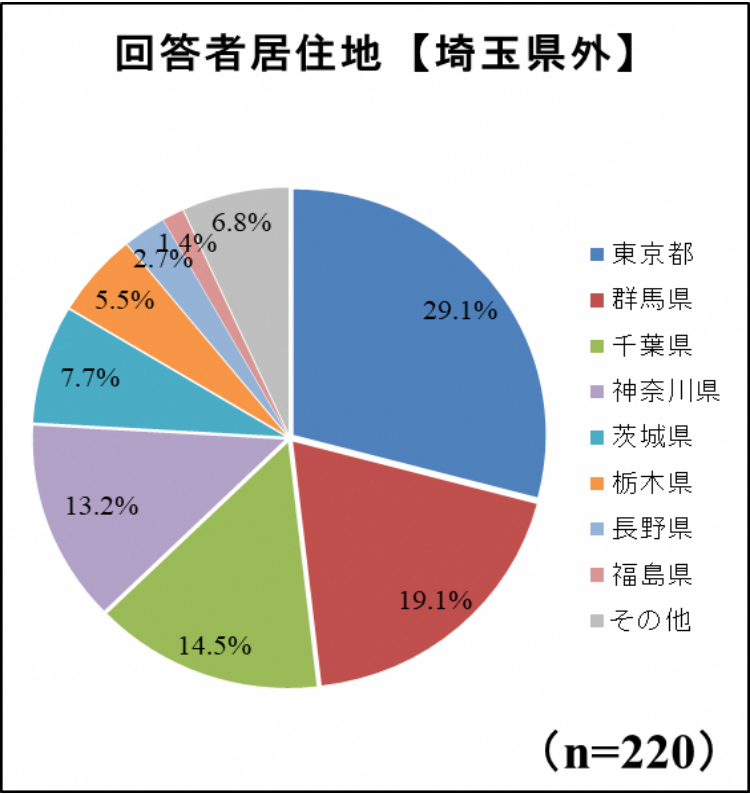
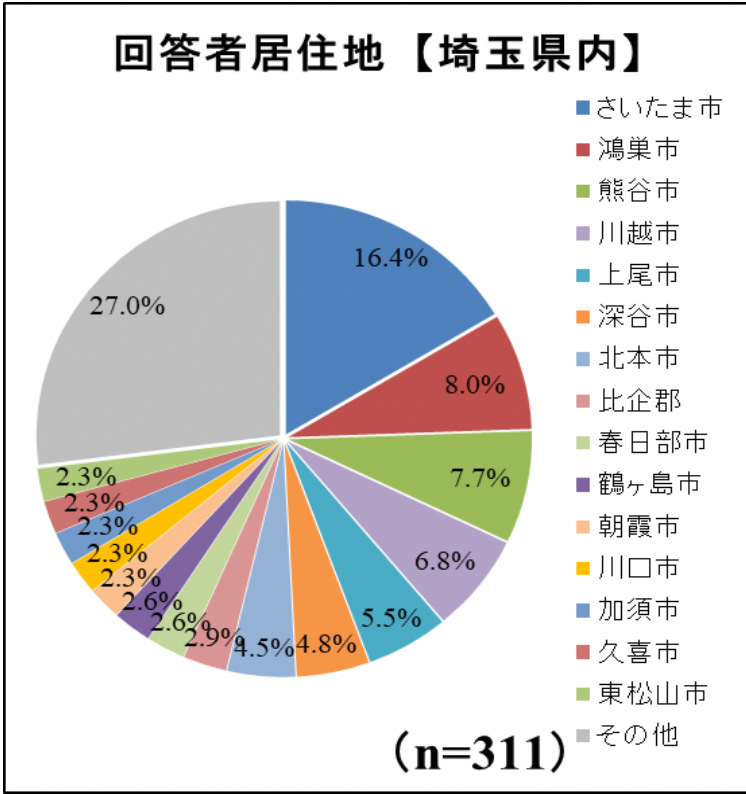
#### ○交通手段

- 自家用車での来園割合が最も高く9割近い結果となった。
- 次いで公共交通機関（バス、電車）の割合が高い（6.1%）。



## ■調査結果の概要とポイント

住む人 (地域住民、地域の事業者)	<b>【利用の現状】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>行田市内からの来園者は、蓮以外の花を楽しむことや散歩や運動などの身近な公園としての利用が比較的多い。</li></ul> <b>【今後の公園利用ニーズ】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>行田市居住の回答者は日常で利用できるレストランやカフェの要望割合が高かった。</li><li>新たなコンテンツとしては、近隣施設（忍城、さきたま古墳群）との連携を求める声が比較的多くなっていた。</li></ul>
訪れる人 (遠方からの観光客)	<b>【利用の現状】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>埼玉県外からの利用では8割程度が蓮・田んぼアート・行田タワーの目玉コンテンツを目的として来園している。</li></ul> <b>【今後の公園利用ニーズ】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>その他埼玉県内からは、子ども向け遊具の設置を希望する意見がやや高い結果となった。</li><li>施設・コンテンツともに、行田市の地域特性（農産物の活用など）を生かした内容にニーズがある。</li></ul>





# 古代蓮の里官民連携事業方針及び施設に関する各種資料

行田市都市計画課

## ■調査結果

### 2.現況把握

#### ○来園目的

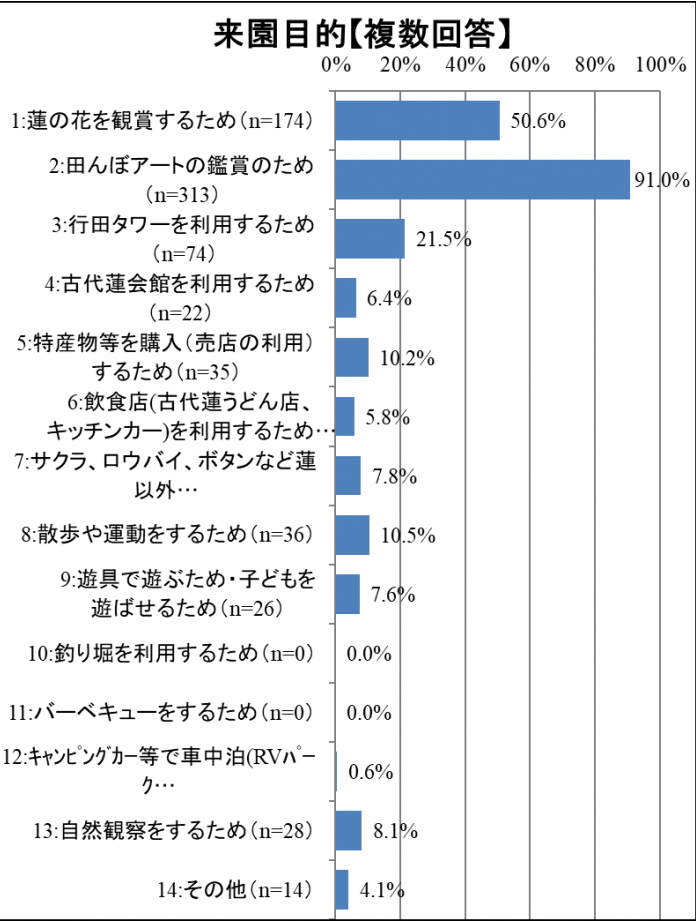
- アンケート調査実施期間の影響もあり、「田んぼアートの鑑賞」を目的とした来園が最も多く、回答者の9割以上で選択されていた。
- 5割程度は「蓮の花の鑑賞」を目的としていた。
- 本公園の主要コンテンツである「蓮の花」「田んぼアート」「行田タワー」以外では、「散歩や運動を楽しむため」「特産物等を購入するため」の割合がやや高い傾向がある。

#### ○利用施設の満足度

- 「田んぼアートの鑑賞」で満足と回答した割合が最も高く9割を超える結果だった。
- アンケート調査時期の影響もあるが、田んぼアートの鑑賞は本公園において重要コンテンツであることが定量的に把握できる。
- 「蓮池、蓮園」は来園目的の割合と比較して満足度はやや低い傾向がある。

#### ○利用施設の不満足度

- 「売店」の割合が最も高く、次いで「釣り堀」「田んぼアートの鑑賞」だった。
- 「売店」「飲食施設」「園内のキッチンカー」は比較的全て不満足度が高く、収益施設に改善の余地があると考えられる。



### 3.将来的な利活用やリニューアルに関するニーズ

#### ○要望施設およびコンテンツ

- 「気軽に利用できるカフェ」「産直施設・観光物産施設」「地域の食材等を扱ったレストラン」のような収益施設の要望割合が高い傾向がある。
- また、「フィールドアスレチック、ふわふわドーム」のような子供向け遊具の要望割合も比較的高い結果だった。
- コンテンツに関しては、「ライトアップイベント、ナイトマルシェ等夜間利用」の要望割合が高く、「収穫祭・地産地消イベント」も要望が多くあった。
- 新規施設・コンテンツ共に産直や地域の食材の利活用のニーズが高い傾向が見られた。

#### ○料金設定

- 古代蓮会館利用料と蓮開花期の駐車場料金の設定について、どちらも「妥当」と回答した割合が高い結果だった。
- 一方で、古代蓮会館利用料に関しては「安い」「やや安い」の合計割合が28.6%と比較的高い。

